

事業目的

・電気化学デバイスは、再生可能エネルギーの利用や水素社会の実現に不可欠である。電解槽や燃料電池といった電気化学デバイスの普及において、イオン伝導膜は中核的な要素技術の一つであり、膜の伝導度向上・コスト低減・耐久性向上の必要性は大きい

事業内容

・高い伝導度と強靱な力学特性を両立する革新的なイオン伝導膜について、製品化に必要な①コストや特性値②電気化学合成デバイスに利用した際の特性③市場・経済性の評価を行う
・上記に基づき、顧客評価の獲得を行う

事業成果

・市場調査・インタビューを通じ事業領域を特定
・デバイスの利用における特性評価を実施
・顧客候補の評価取得・協業計画を策定

事業者情報

株式会社QioN

所在地：大阪府吹田市
設立年：2024年
HP：なし



概要図等

